

筑波技術大学

産学官連携

シーズ

タイポグラフィ・デザイン

typography, history, and font design studies

総合デザイン学科・教授

劉賢国
リュ・ヒョンクツ

キーワード

韓国、北朝鮮、海外コリアンディアスポラ、東アジアのタイポグラフィ歴史と文化史、そしてデザイン史

研究概要

日本において2015年『活字印刷文化史』（日本武雄学術賞、11人共著）、韓国において2016年『ハングル活字の誕生』（世宗優秀学術図書、歴史部門/韓国出版文化賞のノミネイト）と韓国出版研究所（優秀学術賞）、2018年『ハングル活字の銀河系』（世宗優秀学術図書、教養部門）、2019年『東アジアタイポグラファーの実践』韓国出版研究所（学術・評論部門：大賞）などの国内外の単行本3冊と共著14冊と、専門学術誌76本の論文がある。

2021年ユン・新宮中書体の韓国版を開発し、発売している。また、中国においてCJKフォントや日本においてUDフォントの共同研究や開発は進行中である。

現在は「朝鮮王朝版明朝体活字の誕生」、「高麗王朝版の銅活字の起源と成立」「北朝鮮、中国内の朝鮮族、ロシア・ディアスポラ高麗人、在日韓国人などの活版印刷文化史」の研究に注力している。その中で2024年度「北朝鮮活字文化史」と「北朝鮮生活デザイン文化史」の学術書が韓国と日本で出版される予定である。

特に、タイポグラフィ・デザイン学が人文学において普遍的な融合的な研究分野として国内外の招聘講演会の中心に学術活動を行っている。

国内外の活動として人文社会科学コミュニケーション（HSSC, 編集委員会の国際理事）、世界タイポグラフィ連盟（ATypI, 招請講師）、ユネスコ大学フォーラム（UNESCO University of Forum, 歴史保存部門の招請講師）、アジアデジタルアートエンドデザイン学会（ADADA）副会長、ニューヨークタイポグラフィディレクタークラブ（TDC New York, 非ラテン部門常任理事）、韓国国史編纂委員会（NIKH, 海外韓国学資料調査委員）などで活動している。

応用例・用途

CJKフォントやCJKロゴタイプ開発及びUDフォント開発、広告デザイン、3D映像製作、東アジア文字デザイン史と生活史、文化史など。



国立大学法人 筑波技術大学 学術・研究委員会

【問い合わせ先】

〒305-8520 茨城県つくば市天久保4-3-15 総務課 学術・社会貢献係

TEL : 029-858-9339 FAX : 029-858-9312 E-MAIL : kenkyo@ad.tsukuba-tech.ac.jp